

月刊

人事マネジメント

Monthly HRM Materials

人財「採用・育成、評価・賃金」実務資料誌

年頭解説

人材育成12カ月の指針

貴社の教育施策の実施手順・タイミングは最適ですか

株式会社 オフィスあん
代表取締役 松下 直子



●この冊子は『月刊 人事マネジメント』(発行・ビジネスパブリッシング) 2013年1月号から抜粋したものです

人材育成12カ月の指針

貴社の教育施策の実施手順・タイミングは最適ですか

株式会社オフィスあん 代表取締役 松下直子

■教育に啓発の機あり

「啓発同時」という言葉がある。雛が卵から孵るとき、内側から殻を叩くのが「啓」。その音を聞いた母鳥が叩き返すのが「啄」。雛は自分で殻を割れないので中からコンコンと合図を送り、それを聞いた母鳥がコツンと嘴で殻に穴を開けることによって、雛は卵から這い出してくる。もし、母鳥が雛の合図に気づかなかったら、雛は自力で外に出られず、死んでしまうことになる。もちろん、母鳥が殻を割るタイミングが早すぎてもいけない。十分に育たないまま外気に触れれば、雛はやはり、たちまち死んでしまう。

社員教育も同じ。育ちたいと思う人と、育てたいと思う人のタイミングを合わせることが不可欠だ。新年の今号の特集は、社員教育の‘タイミング’をキーワードにして、社員教育の1年間を俯瞰する。



構成

時機を得た取り組みを

- 1月：トップの所感をチェック
- 2月：評価者研修は“次”的ために
- 3月：採用と現場をつなぐ
- 4月：新人に組織の継承を伝える
- 5月：新人は組織で育む
- 6月：自己申告の行間を読む
- 7月：研修を目的に照らし見直す
- 8月：社外で自己研鑽に励む
- 9月：メンタルヘルスへの対応準備を図る
- 10月：異動による引き継ぎのサポート
- 11月：昇格の意思を問う
- 12月：人材育成の責任を自らに問う



●松下 直子（まつした なおこ）

株式会社オフィスあん 代表取締役。社会保険労務士、人事コンサルタント。

神戸大学卒業後、江崎グリコ㈱に入社。新規開拓の営業職、報道担当の広報職、人事労務職を歴任。人事部門では、採用、育成、人事制度設計と運用、労務管理と幅広く人事業務に携わる。現在は、社会保険労務士、人事コンサルタントとして顧問先の指導にあたる一方、民間企業や自治体からの研修依頼は年間200本を超える（2011年実績）。人材育成を生涯のライフワークと決意し、社会人教育に意欲的に向き合うかたわら、士業家の独立支援事業、文化教育事業にも取り組み、幅広く人材育成に携わっている。著書に『採用・面接で「採ってはいけない人」の見きわめ方』（同文館出版）など。

<http://www.oan.co.jp>

場が人をつくり、人が場をつくる



私たちの一つひとつの取り組みは、一見、バラバラに見えますが（笑）すべて「場をつくる」という目的で繋がっています。

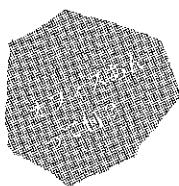
このイラストは、弊社提携のイラストレーター、
おーたあきほさんに弊社をイメージして描いていただいたもの。
まさか龍が出てくるとは想定外でしたが（笑）、おーたさん曰く、

うるこ
‘鰐一つひとつが、まるで人と人が手をつないでいるように
繋がっているんです’

でも、それぞれの味わい方で、この絵を、私たちを、
楽しんでいただけたら嬉しいです。

コーポレートイメージイラスト：おーたあきほ

理念を具現化する集団 それが「チームオフィスあん」です



飛び出そう、成長しよう、とする
人や組織に対し、
必要なタイミングで必要なものを
提供できる会社、
それが「株式会社オフィスあん」です。

人を動機付けることも必要ですが、
動機付けられた人々が最大限の貢献をなそうと
努力できる環境（場）を整えることは、それ以上に重要。
人が成長するには「場」が必要です。
場が人をつくり、そしてまた、人が場をつくります。
だから、「株式会社オフィスあん」は、
効果的な場（組織）づくり、と、人づくり、を通じて、
社会に貢献します。



チームオフィスあん役員（左から）柏崎文彦、松下直子、阪口武

**オフィスあんの
「人づくり」「場つくり」**

わたしたちは、
スタートラインに立つ人のやる気を
成功に導きます。

士業家として開業するには、事務所を構えなければならない。
しかし、いきなり事務所を持つとなると経済的にも不安。
そしてひとりでやっていけるのだろうか…そんな不安をまとめて解決いたします。
代表の松下直子が社労士として開業する際の自らの体験をもとに、「互い」が切磋琢磨し成長する「場」をつくりたいという思いで設立したのがAZ合団事務所です。

開業から独立まで
士業家のためのスタートアップオフィス

AZ合団事務所

社会保険労務士の
成功への支援セミナー

「ここだけ」

私たちは、伝えたいことがあります。

そして、ここに、同じように、伝えたいことを持った仲間がいます。

その仲間たちは、それぞれの伝える術（すべて）を持っています。

イラスト、フォトグラフ、言葉、文字…それぞれの術、です

これらを、もっともっと、ビジネスの現場へ。

「彩」では老若男女が同じ空間で文化や芸術など様々な分野の「本物」を

体験いただける講義・体験型セミナーを開催しております。

毎月、何社もの人事の方とお目にかかる機会がありました。
そして、思ってきました。企業の人事バーソン同士。
「意外に企業や業界を超えたヨコの繋がりが少ないんだなあ…」と。
人事バーソンが集い、交流し、語らう中から生まれる価値があるに違いない。
傷を舐めあうのではなく、互いに切磋琢磨し合える「場」を創りたい。
何かの目的のために集まるのではなく、「集まる」ということを
目的にしていいじゃない！
この交流会は、そんな私たちの想いの具現化のひとつです。
会の趣旨からあくまで会員制をとっていますが、年会費等は不要。
参加資格もありません。
「集いたい者招まず、去りたい者追わず」の気楽な会です。
是非、一戻ご参加ください。

人事バーソンの交流会

人事フォーラム「庵」

自治体においては、いま地方分権の本格化、住民ニーズの多様化・高度化に対応すべく、
行政改革、財政の権限化、人事制度改革などに取り組まれています。
「住んでよかった、住みたいと思える“まち”、いかがたりたいと思える“ふるさと”づくり」
といふ目的・使命(パラリス)に向かって頑張る自治体に場を提供しています。

自治体人事・総務・企画バーソン対象

自治体交流会「ぶんぶん(文官武官)」

会社概要

社名	株式会社 オフィスあん
所在地	<p>【本社】〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-7-8 ヴィラ・フェニックス 1407</p> <p>【新大阪支店】〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-7-7</p> <p>TEL : 06-6392-1139 FAX : 06-6392-1369</p>
設立	2007年7月
役員	<p>代表取締役 松下 優子</p> <p>取締役 柏崎 文彦</p> <p>監査役 阪口 武</p>
事業内容	<p>一言でいえば、戦略人事、人事・労務、人材育成部門の外部ブレーンです。</p> <p>人づくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成システムの設計、導入、運用支援 ・研修・セミナーの企画、立案、受託及び実施 <p>組織つくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事労務管理システムの設計、導入、運用支援 ・人事労務管理の適正化指導及び調査研究 <p>事業・社会・開業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職・起業家に対する各種情報、ノウハウの提供 及び開業支援 ・専門職・起業家に対するオフィススペース 及び これに附随する各種機能の提供 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍の出版 及び 販売 ・貸会議室の運営 ・組織（企業組織及び地域社会）の歴史・文化の調査研究
基本理念	<p>人が人をつくり、人が場をつくる</p> <p>人を動機付けることも必要ですが、動機付けられた人々が最大限の貢献をなそうと努力できるよう環境（場）を整えることは、それ以上に重要。人が成長するには「場」が必要です。場が人をつくり、そしてまた、人が場をつくります。だから、「株式会社オフィスあん」は、効果的な場（組織）づくり、と、人づくり、を通じて、社会に貢献します。</p> <p>就業主導より就業主導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と対面し、 ・責任（=遂行責任・結果責任）と対面し、 ・仕事の目標達成に関わる、困難と障害に対面し、 ・その困難と障害克服のために、試行錯誤（=創意工夫）を繰り返す。 <p>こうした過程で、人は解決策を見出し、解決への要領と熟練を身につけ、能力向上が図られます。</p> <p>「株式会社オフィスあん」が目指す人事制度のコンセプトです。</p>
関連組織	AZ 合同事務所 社労士オフィスあん



株式会社 オフィスあん

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-7-7
TEL : 06-6392-1139 FAX : 06-6392-1369

ホームページ
<http://www.oan.co.jp/>

